



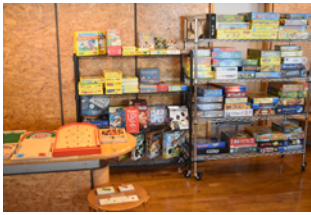
中高生プログラム 音とあそぶ・アナログカフェ

愛知県児童総合センターでは「子どもの権利条約」の原則のひとつである、「子どもの意見表明権」を保障し、子どもが主体的な活動を行えるように、子どもたちの意見を聞く場を設けています。そのひとつとして、中高生世代の居場所となるような空間を提供し、子どもたちが自らの意思で選択したもので楽しむ時間を過ごしてもらうため、今年度から中高生プログラムを実施しています。毎月第3土曜日は「音とあそぶ」。キーボードやウクレレ、ジャンベやコンガといった打楽器など、さまざまな楽器を用意しています。ウクレレでコード(和音)を弾くことに挑戦したり、波の音や鳥の鳴き声をする楽器の音でゆったりとした気持ちになったり、思い思いに過ごすことができます。誰かが太鼓を叩いていると、その場にいる人たちが即興アンサンブルが始まることもあります。「せーの」のかけ声で「ドン!」と、音がびたり揃う瞬間はとても盛り上がります。太鼓の音は身体に響いてきて心地よく、なんだか気分もすっきりします。「小学校でやったことある!」「楽しいな」「この音好き」と教えてくれることも、スタッフにとって嬉しい瞬間です。楽器にふれながら、音と会話が交じ合う時間を、ゆったりと過ごしてもらえれば嬉しく思います。毎月第3日曜日にお父さんと子どものためのプログラムとして開催してきた「アナログカフェ」は、夕方から閉館までの時間を、中高生世代のみなさんを対象にオープンしています。200種類以上のボードゲームやカードゲームなどのアナログなゲームを楽しむことができる場所です。ボードゲームの本場ドイツでは、家族や友人同士で集まって一緒に遊ぶことが、休日の楽しみのひとつになっているそうです。愛知県児童総合センターにあるボードゲームも、競争や交渉、みんなで協力してプレイするものなど、さまざまな内容のゲームがあります。「人数が多いほうが楽しいから、あの人たちと一緒にやってみたい」と、他のグループの人に声をかけて大人数で遊んでいたり、年齢が低い子にあわせてルールを簡単に変えてみんなで楽しめるように工夫をしている姿も見かけます。「もう一回!あと一回!」と言って、終わりの時間ぎりぎりまで遊んでいる様子もとても素敵です。中高生プログラムは今年度から始まったばかり。ひとりでも、グループでも、気軽に遊びに来てください。

子どもの意見表明の場の一環として、
愛知県立松蔭高等学校和太鼓部の希望を受け、活動の場を提供しました。
中高生のみなさんの「こんなことがしてみたい」という声を、ぜひ聞かせてください。



音とあそぶ



アナログカフェ



夏季特別企画

あつまれ! 「線」のあそび

前回の春季特別企画「dot・点 …ここからはじめる…」に続き、
2023年夏は「線」をテーマにいろいろなあそびを用意しました。
何かのカタチにしようとか、何かを描こうと思わない、ただただ伸びていく線を、
ひいて、はって、きってたどって、たくさん遊びました。



令和5年夏季特別企画として実施しました。



線をきる -----
土の粘土をのばして、切って、たくさん
の線をつくります。できた線を型
に重ねて面白いカタチをつくります。



線をたどる -----
館内の床や壁にある点線をたどって、
「文字」や「カタチ」を探しにいきます。
みつけた「文字」で言葉をつったり、
「カタチ」を集めて1つの絵にします。



線をひく -----
台紙にいろいろな黒の画材でただ
ひたすらに線をひきます。



線のかけ -----
ワイヤーでカタチをつくって、線の
影をみるあそびです。



点と線 -----
有孔ボードにピンを刺して、ピンの
間を毛糸の線でつなげて絵や模様
をつくります。



線をかさねる -----
ひかりのテーブルの上いろいろな
線をかさねて遊びます。



線のかお -----
線のシートを顔にあてているな
顔に変身します。



線のマグネット -----
線をどんとんつなげて模様をつく
て遊びます。

〇あつまるあそぶプログラム



**チーム●▲■の
「音のせん」** -----
「ひみつの音の箱」から聞こえるふ
しぎな音のイメージを、線で現して
遊びます。



**松村淳子さんの
「せんのあとのせん」** -----
館内のいろいろな所の線を「フロ
タージュ」で紙にうつしとります。



線をはる -----
チャレンジタワーにビニール紐を
使って線を張り巡らせ、不思議な空
間をつくります。

子育ての おはなし

臨床心理士
後藤 かをり

あるおばあちゃんになりたての人が言
いました。「あかちゃんのお世話はどうつ
てことないのよ。でも娘(赤ちゃんのお母
さん)の気持ちに付き合うのが大変」
お母さんがちょっと留守にする間、赤
ちゃんを預かったのだそうです。帰って
きた娘に「お利口だったよ、ちっとも泣か
ないで。」という、娘さんに「そんなこと
言わないで!」と叱られたそうです。赤
ちゃんをほめたつもりだったのに、日ごろ
赤ちゃんの泣く声をつらく感じていた娘
さんには、自分がダメな親と言われてい
るよう感じられたようです。
私がお会いするお母さん方も同じで
す。親になる責任、ちゃんと親になれる
だろうかという不安でいっぱいです。赤
ちゃんの泣き声は、その重い責任を自分
に突きつけてくるように感じられるので
しょう。いくらおばあちゃんが「赤ちゃん
は泣くのが仕事」と言ってもそんなことは
耳に入りません。

お母さん自身が抱く傷つきの経験、自
分への自信のなさなどは、不安を大きくし
ます。あるお母さんは、続けてきた不妊
治療をあきらめたときに授かった子ど
もに喜びつつ、私はこの子をあきらめて
いたと自分を責める気持ちがあったと語
られました。
少しずつ子どもが大きくなり、笑顔を見
せ、育っているという実感を持てると、気
持ちも楽になっていくことが多いですが、
それまでの間、どのようなことがあるとよ
いでしょう。新しいお母さんの不安を
誰かと分かち合うことができれば、と思
います。
ほんとに初期のお母さんには、保健セ
ンターの保健師さんや、産科の先生方が
いちばん頼りになるのだらうと思います。
子育て支援センターや児童館の職員もお
聞きする準備はできています。ちょっと
話して「この人、大丈夫」と感じる人にど
うぞ語ってください。

第 47 話

なりたてのお母さん

募集と お知らせ

お父さん応援プログラム 「アナログカフェ」

毎月第3日曜日にオープンする「アナログカフェ」
は、お父さんと子どもがボードゲームやカードゲー
ムなど、アナログなあそびを楽しむことができる空
間です。その間、お母さんはのんびり館内で過ご
してください。

日時：毎月第3日曜日13:30～15:30 随時参加
場所：2階「コラボラボ」
対象：小学生以上とその父親



トコトコプログラム

「大人がたのしいと子どもはうれしい」を合言
葉に、小さな子どもとお母さんやお父さん、保
護者のみなさんが“一緒に”楽しむプログラム
です。見る、触るなどの感覚的なあそびを中心
に、いろいろなあそびを親子で体験します。

開催日：
12/6(水)、12/13(水)、1/10(水)、1/17(水)、
1/24(水)、1/31(水)、2/7(水)、2/14(水)、
2/21(水)、2/28(水)
対象：1歳から3歳の未就園の子どもとその保護者
定員：15組程度
受付：前日(火)14時から当日(水)9時まで
Webフォームにて先着順

各回のプログラムの内容や時間等の詳細はHPをご
確認ください。また、Instagramでもお知らせを配信
しています。



音であそぶ



かみであそぶ

移動児童館・ゆめたま号

児童総合センターのあそびを「ゆめたま号」に
乗せて児童館へ運び、現地のスタッフも加わっ
て地域の子どもと大人が一緒に遊べる遊
プログラムです。あそびをととして、たくさん
の出会いを楽しみにしています。

実施機関：
12/16(土) 半田市／板山ふれあいセンター
12/27(水) 田原市／田原児童センター
1/25(木) 岩倉市／第一児童館
2/24(土) 刈谷市／一ツ木児童館
3/7(木) 稲沢市／大里オリーブ児童センター
3/14(木) あま市／葦目寺北児童館
詳細については、実施機関にお問い合わせください。



Instagram[acc_aichi] 更新中

愛知県児童総合センターではInstagramに
て、みんなであそぶプログラム「発見!あそび
の基地」や特別企画、親子であそぶ「トコ
トコプログラム」、中高生プログラム、移動
児童館など、日々の活動の様子を紹介したり、あ
そびのプログラムへの参加申込
についてお知らせしています。

Instagramアカウントはコチラ→
(acc_aichi)



※プログラムは予告なく変更・中止する場合があります。詳しくはHPをご覧ください。